

# 「かわさきロボット競技大会」 ご協賛について

---

一般社団法人 川崎ものづくり支援協会

# 「かわさきロボット競技大会」概要

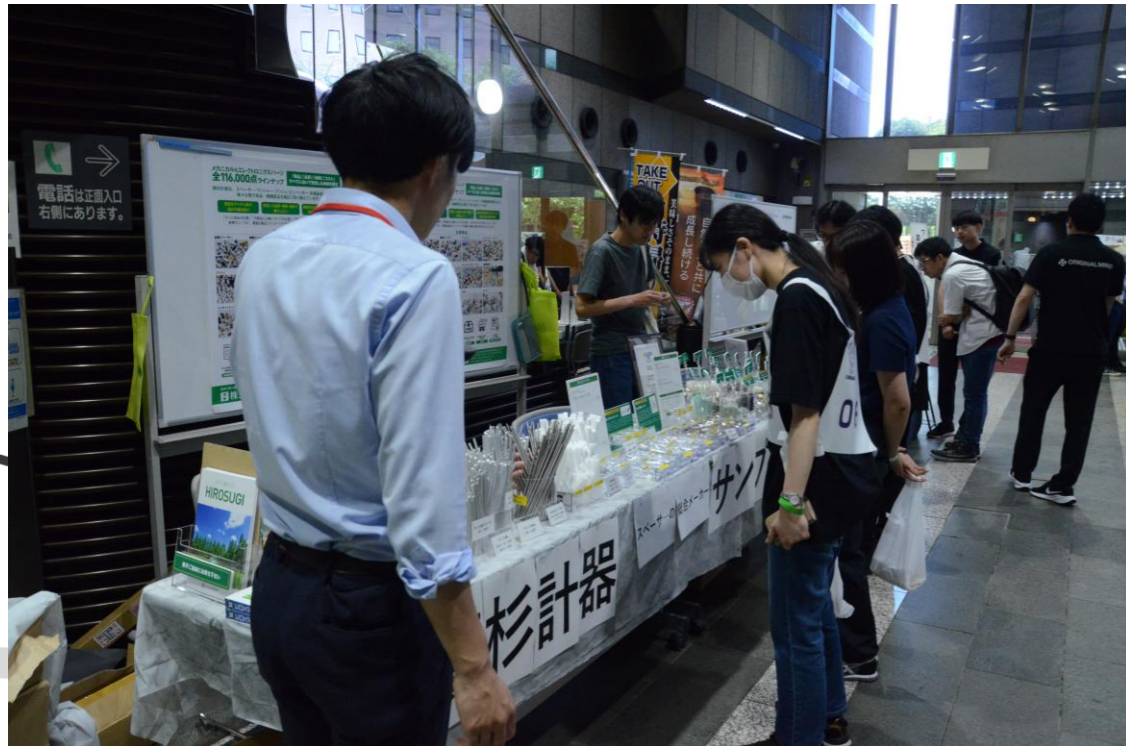
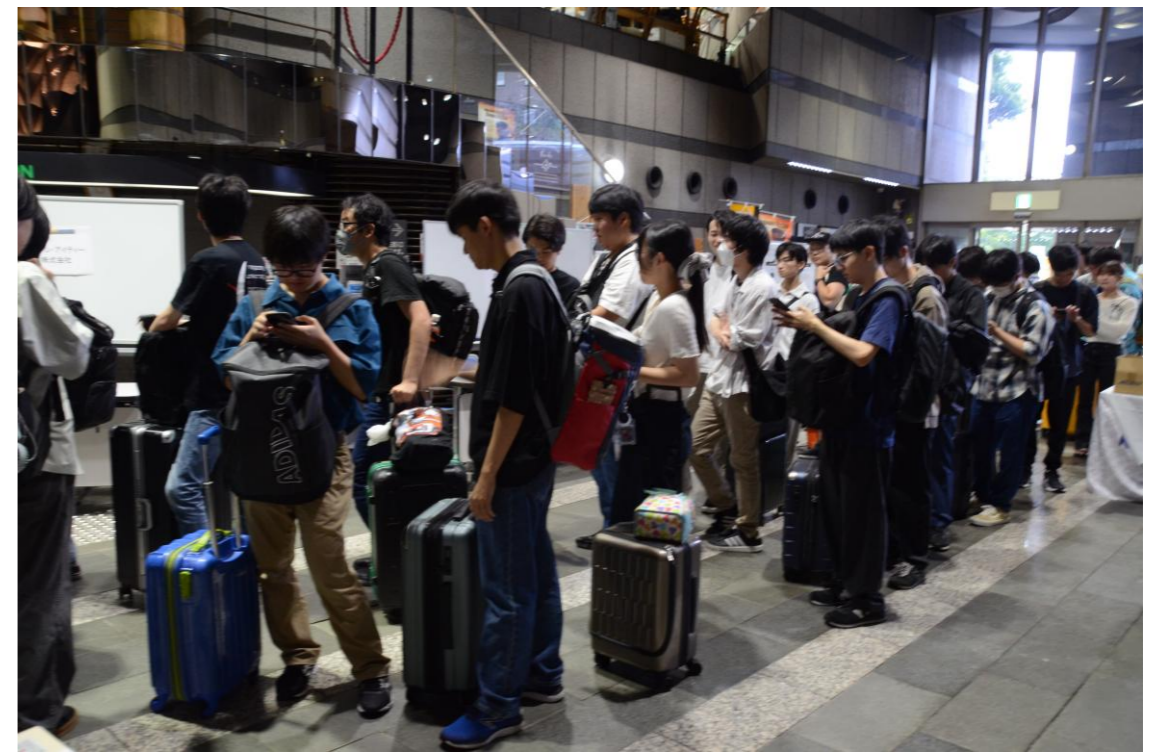
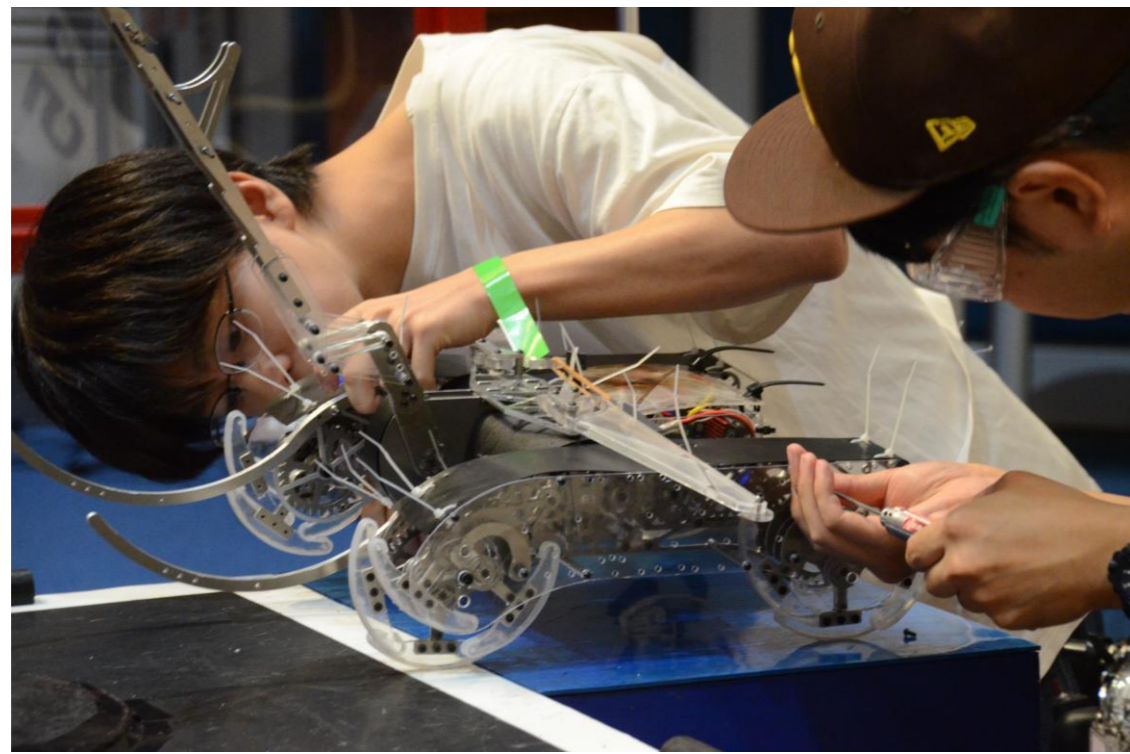
1. 歴史            1994年第1回大会を開催。2025年で32周年、第30回大会を開催
2. 開催時期    毎年、夏（8月下旬の日曜日）
3. 参加者        第1回から30回までで、のべ5,861チームが出場  
（30回大会は133チーム応募、72チームが大会に出場）
4. 主催          かわさきロボット競技大会実行委員会（第28回大会から）
5. 情報発信    公式サイト    <https://kawasaki-sanshinkaikan.jp/robo/>  
公式X        [https://x.com/kawasaki\\_robot](https://x.com/kawasaki_robot)  
Youtubeチャンネル <https://www.youtube.com/@かわさきロボット競技大会>

# かわさきロボット競技大会の目的

本大会の目的を「**若手技術者の育成を目的としたものづくり登竜門**」とし、  
具体的には以下のように定める。

- 1) **本大会を通じた、実践的なものづくりを体験する場を提供する**
- 2) **本大会を通じて、ものづくりの素晴らしさを啓蒙する場を提供する**
- 3) **本大会を通じて、他者を敬い、技術に謙虚な姿勢を学ぶ場とする**

※第30回大会競技規則から抜粋



# かわさきロボット競技大会 実行委員会

第30回大会は、以下7名にて実行委員会を構成しました。

- 実行委員長 五味渕弘毅（一般社団法人 川崎ものづくり支援協会 代表理事）
- 副委員長 荻原 圭一（公益財団法人 川崎市産業振興財団 専務理事）
- 委員 濱野 雄功（川崎市立川崎総合科学高校 校長）
- 委員 先川原 正浩（千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 室長）
- 委員 中村清一（双葉電子工業株式会社 ホビーラジコン事業センター営業部）
- 委員 山田大介（メディエックステック株式会社 代表取締役社長）
- 委員 須山 徹（株式会社ニクニ 技術開発本部）

# 第30回大会 協賛企業

第30回大会は、以下の36社・団体からご協賛をいただきました。

株式会社アマダ、株式会社ビーネックステクノロジーズ、株式会社MonotaRO、株式会社協育、京急サービス株式会社、日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校、株式会社廣杉計器、株式会社アポルテフードファクトリー、株式会社イグアス、株式会社延山製作所、  
オリエンタルモーター株式会社、株式会社 オリジナルマインド、株式会社カフェサウダージ、川崎信用金庫、株式会社工苑、TMCシステム株式会社、ドローン・アイティー株式会社、  
株式会社匠技術研究所、株式会社南信社、株式会社二幸技研、株式会社日の出製作所、  
富士通Japan株式会社 関東・信越公共ビジネス統括部、双葉電子工業株式会社、  
メディエックステック株式会社、株式会社ロビット、味の素株式会社、株式会社安藤工業所、株式会社大西家具店、川崎商工会議所、川崎マリーンロータリークラブ、  
公益社団法人 川崎南法人会 青年部会、株式会社協育、株式会社トーキンオール、松山工業株式会社、  
美遊JAPAN有限会社、輪島市、輪島商工会議所

# 第30回大会の報道・露出について

第30回大会の情報になりますが、以下の媒体へ出演・掲載していただきました。

- ・ラジオ      かわさきFM    番組「かわF RADIO SHOW クジヒル」出演
- ・新聞      9月2日付、9月7日付    神奈川新聞紙面および、ニュースサイト「カナロコ」  
<https://www.kanaloco.jp/news/life/article-1203684.html>  
8月31日付、10月31日付    東京新聞紙面  
9月11日付    朝日新聞紙面（神奈川県版）
- ・テレビ      YOUテレビ（横浜・神奈川ケーブルテレビ）  
「地域情報番組MyYou！」内    9/22(月)～9/28(日)

# 若きエンジニアが白熱バトル 30回記念「かわさきロボット競技大会」

ロボット  
 話題 | 神奈川新聞 | 2025年9月7日(日) 18:01

自作のロボット同士を闘わせる「かわさきロボット競技大会」が7日、川崎市産業振興会館（同市幸区）で行われた。30回目を迎える記念大会で、全国各地から集った若きエンジニアたちが白熱したバトルを繰り広げた。



多くの観客らが訪れた「かわさきロボット競技大会」=7日、川崎市産業振興会館

今年は遠くは新潟や兵庫など、各地から集まった133チームが参加。予選を勝ち上がった12チームで行われた決勝トーナメントでは、各チームが趣向を凝らして作ったラジコン型ロボット同士が対戦。衝突で大きな機械音が響いたり、部品の一部がリング外に飛び出したりするなど、終始白熱した展開を見せた。相手のロボットをリング外に押し出し、勝利を決めると、会場には大きな歓声や拍手が上がった。



各チームが趣向を凝らして作ったラジコン型ロボット=7日、川崎市産業振興会館

会場を訪れた会社員の高村宏幸さん（49）=横浜市都筑区=は29年前、大学のサークルメンバーとして同大会に出場した一人。後輩たちの戦いを見守りながら「いまだに続いているのはすごうれしいし、これからも続いているほしい」と感慨深げに話した。（木村 陽香）



# 手作りロボットで対戦 市産業振興会館で

ラジコン型のロボット同士で対戦する「かわさきロボット競技大会」が9月7日(日)、川崎市産業振興会館1階ホール(幸区堀川町)で開催された。今年は30回目の記念大会。

学生から社会人まで、全国各地から集まった72チームが参戦。各チームはそれぞれ趣向を凝らして、ロボットの企画から設計、製作までを行い、戦いに挑む。ルールは相手手を10秒間走行不能にするか、リング外に押し出すと勝ち。予選は1ラウンド(2分間) 1本勝負、決勝トーナメントは3ラウンド3本勝負。観覧無料。申込不要。午前9時30分にオープニングセレモニー、10時に予選、午後2時30分から決勝トーナメント。



ロボットを操作する参加者

19 神奈川 14版

## 日産、スタジアムなど命名権 大幅減額を要請

「日産スタジアム」となる年間5千万円で1(横浜市港北区)など3年間の更新を横浜市に求められているが市幹部へ(命名権)契約について、日産は同契約を巡り、動車が、現在の半額以下(日産スタジアム(横浜国立大学競技場)のほか、日産ワールド小机(小机競技場)、日産ウォーターパーク(スポートコミュニティプラザ)の命名権を持つ。市によると契約は2021年3月からの5年間で、契約料は6億円。05年から更新し続けてきた。日産は7月に単に土場での生産を終了すると発表するなか、経営再建を急ぐ、命名権を巡っては日産が7月に市に意向を伝えている。だが、市幹部によると、日産のその強さを弱くするといった

## 格闘ロボ 精密さファイト

手作りのロボットが格闘する「かわさきロボット競技大会」が7日、川崎市幸区の市産業振興会館で開かれた。高校生や大学生、社会人の計67チームが出場した。

次世代の技術者の育成を目的に始まり、今年で30回目。1.9四方のリングの上で、無線で操縦するロボットを1対1で戦わせる。相手を10秒間倒すか、リングの外に押し出せば勝ちとなる。激しくぶつかったり、アームなどで相手をひっくり返したりすると、会場がわいた。

市立川崎総合科学高校ロボット研究部のチームは、出場チームのなかで唯一の高校生。予選リーグでは、1試合目が開始直後に押し出され、2試合目は攻め込んだものの、最後はロボットが動かなくなって敗れた。

チームリーダーの鎌谷勇仁さん(17)は「まったく動かなかった昨年よりは進歩した。でも、2試合目はいいところまでいったので残念だった」と話した。(稲石俊章)

## 川崎で大会 学生ら67チーム

大会に出場。天気がないと、暮らしが想像できなかった。コロナ禍の2020年と21年は開催を避けるため中止を繰り返されたが、関係者の「伝統ある大会を続けていきたい」との思いが再びつながり、その後、主催する実行委員会の五味滋弘委員長(49)は大学生と大学院生として18回目の

新編から兵庫まで各地から集まった133チームが参加。予選を勝ち上がった12チームで行われた決勝トーナメントでは、各チームが趣向を凝らして作ったラジコン型ロボット同士が対戦。衝突で大きな機械音が響いたり、部品の一部がリング外に飛び出したりするなど、終始白熱した展開を見せた。相手のロボットをリング外に押し出し、勝利を決めると、会場には大きな歓声や拍手が上がった。

### きょうの天気

6-12時 晴本曇り 12-18時 晴

横浜	最高 25度	最低 16度
三浦	最高 24度	最低 15度
海老名	最高 24度	最低 15度
小田原	最高 24度	最低 15度

湿度 60% 波 1.0m

9月12日(日)7月21日

9月12日	5-22
9月13日	17-33
9月14日	20-26
9月15日	10-15

9月19日

# ロボット操り「バトル」

若手技術者の登竜門とされる「かわさきロボット競技大会」が7日、川崎市産業振興会館(同市幸区)で開催される。技術力に自信のある若者が全国各地から集い、熱き戦いを繰り広げる。30回目を迎える記念大会で、個性豊かなロボットによる特別対戦も行われる。(木村 陽香)

## 川崎で7日、競技大会

大会は9月4日、市制70周年記念事業として始まった。エンジニアを志す若者たちの交流の場や、ものづくりや製造に関わる市内外の企業

# 若手技術者と製造業結ぶ



自身も大会に出場した経験を持つ味津委員

「あつ、妹と同じ」と話している。

味津委員は「午前10時から、入場無料。問い合わせは、同実行委員会事務局 ☎044(6)48(1)114。」と話している。

# 30回大会からの変更点

- ・「かわロボ交流広場」の申し込みについて、協賛口数、特別協賛を考慮します
- ・仕組みとして午前中の予選の時間を短縮、予定時間内に収まるように変更  
昼休みの休憩時間（1時間）を確保し、余裕を持ったスケジュールに
- ・会場ホール中央にスクリーンを用意し、試合の様子がより分かりやすく  
安全対策の透明ボードは31回大会も残るものの、1階客席前3列も座れるように
- ・表彰式に受賞者がいないことが無いよう、企業賞が決まり次第選手に連絡。  
どうしても会場を離れてしまう場合は、代役を立て企業賞を授与する形に変更

# 協賛企業様への還元

- ・ 参加者へのノベルティ、チラシ、企業アピール資料などの配布、
- ・ 参加者への企業賞のご提供  
表彰式での会社名のアナウンス
- ・ 会館1階ロビーでの「かわロボ交流広場」のご出展（枠数に限りあり）  
参加者、観客へ直接アピールする場、物販も可能

# 大会へのご協賛について

第31回大会にご協賛くださる企業・団体を募集しております。

口数	1口5万円（現時点での最大口数は4口） ※賞品提供のみのご協賛の場合は、別途ご相談ください
社名・ロゴの掲示	大会公式サイトへの掲載（ロゴ画像掲載は口数に応じて） 大会当日のパンフレット、インタビューボードへの掲載 大会公式報告書への掲載
その他の対応	大会当日のロビーでのブース出展（「かわロボ交流広場」） ※ブース出展のご希望が多い場合は、協賛口数等を踏まえて 出展する企業・団体を決めさせていただきます。